

瑞穂町教育委員会
教育長 鳥海 俊身 様

瑞穂町立瑞穂第四小学校
校長 石坂 隆文
(公印省略)

平成29年度 学校評価報告書

1 自己評価

(1) 評価及び成果と課題

評価項目		評価	28評価	成果	課題
1	学力向上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決的な学習において、児童が学び合い活動の重要性を実感 ○東京ベーシックドリル診断テスト向上(1割以上) ○「みずほ学」の教材開発と児童の学び方の向上 ○図書貸出冊数増(昨年比1人3冊以上増) 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習習慣の確立 ○主体的に学習を進める意欲、態度の向上 ○基礎的・基本的な学習内容の定着 ○思考力、判断力、表現力の育成
2	健康・体力	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○休み時間後のうがい、手洗いの習慣化 ○高学年においては、体力・運動能力調査において向上傾向 ○オリ・パラ教育として、なわとびを中心とした1学級1取組の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○自他の安全を意識した行動 ○低・中学年において、すばやい動きを必要とする運動能力の向上
3	道徳教育	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○一部、特別の教科道徳に示された価値を主題とした授業の実践 ○道徳授業地区公開講座意見交換会参加人数の増加(約60名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○考える道徳、議論する道徳をめざした指導方法の改善 ○児童の様子の見取りと所見記入の視点
4	特別支援教育	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○連携型個別指導計画の活用による指導の充実 ○ユニバーサルデザインに基づいた授業展開と環境 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教室の指導体制構築 ○特支援教室の意義周知
5	生活指導	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ防止に向けた取組と研修の充実 ○SNS東京ノートを活用した計画的な指導 ○教員の危機管理意識の向上 ○総合防災教育による児童の防災意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつの励行 ○言語環境の整理 ○登校渋り、不登校、遅刻の対応
6	研修・研究	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究発表会(算数)の実施により問題解決的な学習指導方法について理解 ○ミニ研修会を含め、週1回以上のさまざまなOJT研修(学習指導、特別活動、人権、危機管理、児童理解、服务等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○新教科、新学習指導要領の理解と実践に関する研修・研究の実施 ○Off・J・Tへの参加
7	家庭・地域の連携	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学校、学年だより、HPブログによる情報提供 ○地域の方を講師招聘 	<ul style="list-style-type: none"> ○芝生を活用した地域連携事業の推進
8	経営・組織	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○主幹教諭を中心とした2系統4ラインの分掌が機能 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな教育課題に対する対応

(2) 保護者に対するアンケート結果からの成果と課題

① 成果

- 学校公開日を土曜日を含め複数回設定したこと。
- 家庭での学習習慣を確立するために宿題の指導を行ったこと
- 生活、交通、災害安全に関する指導に取り組んだこと

② 課題

- 学習意欲を高め、効果をあげるためにICT機器を活用すること
- 学校ボランティアの積極的な活用を図ること

(3) 児童・生徒に対する学校評価・授業評価からの成果と課題

① 成果

- 計算が正確に、速くできるようにがんばったこと
- 手洗いやうがいなど自分の体の健康に気を付けて行動したこと
- 家の人に言われなくても宿題に取り組んだこと

② 課題

- 授業中、はじめをつけて話を聞いたり、「はい」立「です」に注意して勉強すること
- ヘルメットをかぶったり、寄り道をしたりしないで交通安全に気を付けて行動すること

2 学校関係者評価

(1) 主な活動

月日	会場	協議会内容等
平成29年 7月14日	瑞穂第四小学校	○平成29年度の学校経営、1学期の活動 ○学校関係者評価協力をお願い
平成29年11月18日	瑞穂第四小学校	○授業参観、教育活動中間報告 ○学校評価について
平成30年1月 22日	瑞穂第四小学校	○学校評価(自己、児童、、保護者)の報告 ○学校関係者評価の実施

(2) 委員の構成

職名	氏名	所属等
1 評価委員長	井上 一也	むさし野地区青少協会長
2 評価副委員長	三木 智徳	瑞穂第四小学校PTA
3 評価委員	多武保 理	西3丁目町内会長
4 評価委員	横山 豊	松原町内会長
5 評価委員	島 キサ子	旭が丘自治会長
6 評価委員	高橋 幸亮	さかえ町内会長
7 評価委員	松崎 森衛	富士見町内会長
8 評価委員	大木 武彦	南平町内会長
9 評価委員	原 隆寿	保護司
10 評価委員	戸田 祐佳	主任児童委員
11 評価委員	平沢 澄子	民生児童委員
12 評価委員	深堀 豪	南平子ども育成会長
13 評価委員	上野 泰史	武蔵野駐在所
14 評価委員	内山 康代	瑞穂第四小学校PTA
15 評価委員	島袋アレックス	瑞穂第四小学校PTA

(3) 評価及び次年度の改善策

評価項目	評価	28評価	今年度の状況	次年度の改善策
1 学力向上	B	B	○授業には工夫が見られ、熱心に指導している。 ○本が身近にあってよい。	○学力向上を目指してほしい。
2 健康・体力	B	B	○マラソン大会など体力向上に向けた取り組みは大切である。	○芝生を生かした体力づくりをしてほしい。
3 道徳教育	B	B	○道徳授業地区公開講座からさまざまなテーマで学習を進めていてよかった。	○教科になることで、しっかり対応してほしい。
4 特別支援教育	B	B	○児童が生き生きと学習を進め、一人一人の課題に応じた学習だった。	○特別支援教室について、知らせてほしい。

5	生活指導	B	B	○挨拶のできる子は多くなっていると感じる。励行を大切にしてほしい。	○登校に関する課題の取り組みを充実させてほしい。
6	研修・研究	B	B	○児童が進んで学習できるよう、教員はたくさんの工夫をしている。	○児童が楽しく学べるようにしてほしい。
7	家庭・地域の連携	B	B	○授業公開や学校行事等たくさん学校を開いているのはよい。	○教育に対し、保護者の関心を高めていくことが大切だと考える。
8	経営・組織	B	B	○教員が協力して、丁寧に課題にあたっていると感じる。	○教員によって差がでないよう研修を充実させてほしい。

3 今年度の学校経営計画の実現状況について

重点事項 1

学力向上

(1) 取組状況

- 外部講師を招聘しての学習意欲喚起と体験活動の充実
- 繰り返し学習の充実（朝、昼、放課後フューチャースクール等）
- 東京ベーシックドリル活用による自主学習指導
- 読書活動の充実

(2) 成果

- 「みずほ学」を中心に講師を招聘し、教材開発をし、学び方の指導を行った。
- 全校が共通して学習指導タイムを確保できた。
- 東京ベーシックドリル診断テストの結果が全学年向上した。
- 図書貸出が1400冊増加した。（昨年度比）

(3) 課題

- 児童が主体的に学習し、成長が実感できる授業の実施

(4) 次年度に向けての改善策

- 四小として学びに向かう姿勢を育成するための指導内容の共通理解
- 児童自身が学習の足跡を残し、成果を実感できる指導内容の実施検討

重点事項 2

研修・研究

(1) 取組状況

- 全学級が2回の研究授業を実施する。また、研究発表会を実施する。
- OJTとOFF・JTの実施
OJT(学習指導、若手、教育課題—情報モラル・特別支援教育・eラーニング、人権、危機管理、服務事故防止等)

(2) 成果	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究の研究授業において、全日程で講師による指導を受けることができ、授業改善の意識が高まり、ポイントの共通理解ができた。 ○ミニ研修を含め、毎週のようにOJTを実施することができ、教員の交流が進み使命の自覚が高まった。
(3) 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ポイントを絞った授業改善に関する相互の授業参観実施 ○OJT実施のための時間の確保
(4) 次年度に向けての改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領理解研修の実施と特別の教科道徳、外国語指導の研修の実施 ○OJT授業参観週間の実施 ○15分程度のミニ研修の計画的な実施
重点事項 3	生活指導
(1) 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○全校児童を全教職員で一貫性のある指導を実施する。(生活指導の手引き、週1生活指導夕会) ○挨拶と言葉遣いの指導 ○いじめ防止指導の充実 ○さまざまな安全指導の実施
(2) 成果	<ul style="list-style-type: none"> ○生活指導の手引きに沿った指導を組織的に行う意識が高くなった。 ○深刻ないじめの相談はなく、教員もアンテナを高くはれている。 ○月1回のSNS東京ノートを活用した安全指導の実施
(3) 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○生活指導の手引き内容の職員への周知と保護者への啓発 ○挨拶と言葉遣いの指導 ○不登校対応
(4) 次年度に向けての改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○職員打ち合わせ等を活用した生活指導の手引き内容理解研修の実施 ○「みすほあったか先生」の推進、率先垂範と児童会への指導 ○不登校傾向にある家庭に対する関係機関との連携